

《発行：年4回》
 春号・夏号・秋号・冬号
 《ご意見・お問い合わせ》
 奈良県鉄構建設業協同組合
 まで



奈良県鉄構建設業協同組合
【事務局】
 奈良県橿原市十市町1037番地
 TEL:0744-25-7519
 FAX:0744-25-7493
 E-mail:nara.sfa@kcn.jp

理事長コーナー

日頃より組合活動にご協力頂き、有難うございます。
 5月末の総会も、例年より多くの出席で、無事終わられた事を、御礼申し上げます。

組合活動は、理事会、事務局からの一方的な情報伝達だけでなく、組合員相互の交流を深めて、意見交換する中から、新しい方向が、見えて来ると思います。その為にも、総会や支部会、各委員会にも積極的に参加して頂き、より多くの意見を頂き、組合活動の活性化に、協力をお願い致します。

これから毎月の様に、見学会やフェスティバル等の組合の行事も有りますので、1人でも多くの方に、参加して頂きます様、お願い致します。

総会の前、組合三役で、各社を回らせて頂き、中には、

初めて訪問させていただく会社もあり、組合内の交流、結末の意味からも、次回からは、三役だけではなく、希望される組合員の皆様にも参加して頂けたら、有意義な機会となると思います。今後とも宜しくお願いします。

写真は5月に訪れた、現存天守の一つ、香川丸亀城です。



「認定グレード指定への疑問」

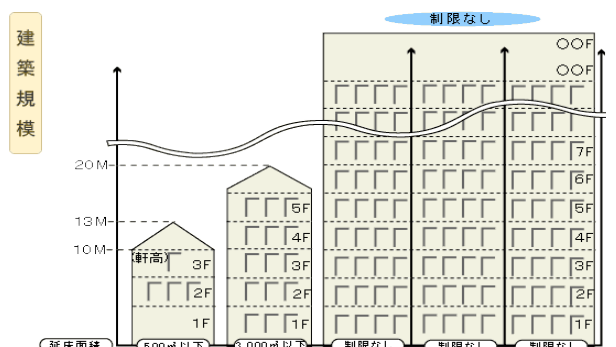
福本鉄工所 代表 福本浩三

今年度は、公共工事が大幅に削減され建設工事及び土木工事の発注が少ないようです。鉄骨工事においてもかなりの影響があらわれると思われまます。

さて、みなさんは鉄骨工事において設計図書に書かれているグレードについて疑問に感じられたことはありませんか。「どうしてこれがMなのか？」グレードにはランクにあった範囲が決められています。しかし、それには関係なくグレードが示されていることが多いことに気がつきます。鉄構組合でも奈良県や各市町村設計事務所の方へ出向き説明もしてきました。少しは改善されてきましたが、まだまだのように思われます。事実、各組合員に聞いてみると、それぞれのグレードにあった得意分野の規模の仕事があるといひます。たとえばJグレードに100t200tの仕事となれば納期などから考えて難しく思われるし、Mグレードに10t20tの仕事となればこれもまた考えものである。個人的な意見ですがグレードって必要なのでしょうか？認定を受けた工場であればいいのではないのでしょうか。

各グレードの適用範囲

	J グレード	R グレード	M グレード	H グレード	S グレード
種類	400N	480Nまで	490Nまで	520Nまで	制限なし
板厚	16mm以下	25mm以下	40mm以下	60mm以下	制限なし
通し パイプ	490Nまで 22mm以下	32mm以下	50mm以下	70mm以下	制限なし
ハース プレート	490Nまで 50mm以下	50mm以下	制限なし	制限なし	制限なし



Jグレード Rグレード Mグレード Hグレード Sグレード

次のバトンタッチは泉岡鉄工の泉岡社長、お願いします。

バ
ト
ン
タ
ッ
チ



平成27年度、第43回通常総会開催

奈良県鉄構建設業協同組合の第43回通常総会が、平成27年5月23日(土)に橿原神宮養正殿にて開催されました。冒頭には、針田理事長より「信頼されるファブを目ざし、適正なコスト・工期をお願いできるように、根気よく理解してもらい、説得して頂けるようにがんばってきたい。また、長引く不況で出来なかった社員教育をこの組合で協力して出来るようにしたい」との挨拶を頂きました。総会では、内藤副理事長が議長となり、全ての議案について滞りなく承認されました。

総会後は席を隣の間に移して賛助会員さんも交えての懇親会となりました。今年から顧問となって頂きました県会議員の乾顧問からも元気な挨拶を頂き、西窪相談役の乾杯の発声で宴となりました。組合員・賛助会員あわせて47名の出席を頂き、美味しい料理を食べつつ、酒を酌み交わしながら日頃の情報交換が図れました。今年もなお一層の一致団結を決意した総会となりました。



理事長挨拶



総会の様子



乾顧問ご挨拶



懇親会の様子

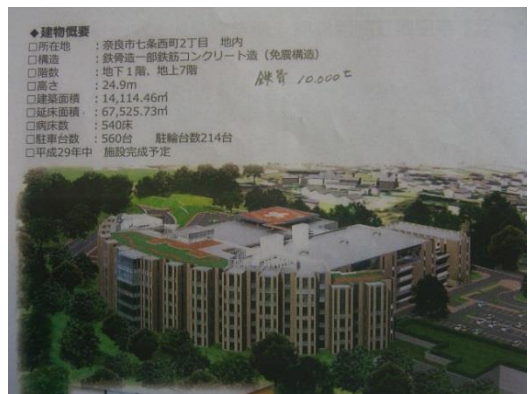
行政(奈良県)への陳情活動報告

「奈良県産品」

副理事長 内藤源美

いよいよ奈良市六条山の広大な敷地に奈良県発注工事「新奈良県総合医療センター」の建築工事が始まります。元請は(株)奥村組JVで、鉄骨約1万トンの工事だそうです。当鉄構組合、乾顧問(奈良県県会議員)は、地場産業育成のために、地元ファブを起用するようにと県担当局に強く働きかけて来ております。5月22日に奈良県県会議員会館にて、県会議長中村昭議員同席の上、奈良県まちづくり推進局、金剛一智局長を紹介していただくことになり、

組合より針田理事長と副理事長、事務局の5名で行って参りました。県会議長は、ファブ一社の為には動く事はできないが「奈良県産品」という意味で組合と元請業者とのパイプ役を局長に働きかけて頂きました。この度の物件は元請業者もすでに決まっており組合としてもどのように受注したら良いのか解かりませんが、今後も行政への陳情は継続していき、県内物件の鉄骨は組合ファブ100%受注のはし掛りとなれば幸いです。乾顧問ありがとうございました。



教育・認定事業委員会より

委員長 藤田英輝

冷えたビールが美味しい今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか？

さて、教育認定事業委員会の方ですが、去る5月16日に組合会館にて「ローバル工法講習会」を実施しました。16社33名の参加で大盛況でした。



座学の様子



実地講習の様子

学科講習は試験もあり皆様お疲れの様子でしたが、いざ実地講習になると、眼が輝いていました。やっぱり職人ですねえ～ ローバル株式会社の皆様、ならびに紹介いただいた賛助会員のフルサト工業様、大変ありがとうございました。

また、6月24日には27年度第1回委員会も開催いたしました。今秋には認定の更新申請をする組合員さんも多数いらっしゃると思いますが、今からそれなりに考えて準備のほど、よろしく願い申し上げます。今年度は技術的な勉強会以外にも、ちょっと変わった事業も考えていこうかなと思っていますので、またよろしく願いいたします

共済・経営近代化委員会より

委員長 寺田信弘

ver.11

第1回委員会

開催日時：2015年4月2日 16:00～

開催場所：組合会館会議室にて開催

出席者：(委員会) 寺田 上柿 福本 泉岡

(協賛会社) フルサト工業 AIU フジテツ

今回の委員会は共済の協力業者との意見交換会を開催しました。まずは、26年度の各社実績報告をして頂き、協賛会社から、実績を上げるためには、委員会の積極的なサポートが欲しいとの意見がありましたので、協議した結果、総会資料の事業報告に、扱い品目の後に販売窓口会社名と担当者・連絡先を明記して、各社のパンフレットを配布することにして、サポートに代えることとしました。

そして、経営近代化事業(仮称 駄込み寺)について議論した結果、メニュー(案)を次回理事会で提案することとし、理事会での協議時間短縮のため、提案内容を事前に役員全員に電子メールで配布しておくこととしました。

第2回委員会

開催日時：2015年6月25日 19:00～

開催場所：たち花にて開催

出席者：寺田 上柿 中原 平野 中島

オブザーバー桑谷(コンドレーテック)

まずは、新たな共済商品として、コンドレーテック 桑谷氏より ライズタラップ本体・受金具の商品の説明を受け、ライズタラップ本体、受金具を協賛品目として組合に協力して頂けることとご提案いただきました。委員会としては承認し、次回の理事会にて議題として提出、審議して頂く事としました。

次に、経営近代化事業(仮称 駄込み寺)について議論した結果、前回に作成した資料を各支部会にて内容を説明し周知して頂いて、個々の意見を伺って、次回の委員会にて検討する事にしました。

そして、組合員・賛助会員合同研修旅行について議論し、時期は秋から冬頃として、研修場所は、今治造船見学の後、道後温泉方面で調整し後の委員会にて下見等も考えながら調整するにしました。

次回の委員会は各支部会終了後、日程調整し開催する事とした。

次回委員会に皆さんのご参加お待ちしております！

青年部コーナー

青年部会長 井上貴成

6月6日に青年部会の平成27年度通常総会を開催させていただきました。13社中8社の出席で、議案審議をすべて承認いただきました。一年間何も出来ずで、皆様には本当に申し訳御座いませんでした。残り一年は色々と計画を立てており、動きだしております。楽しい事業を展開して参りますので、皆様の御協力をお願いし、一年間取り組みたいと思います。詳細になりますが、8月22日(土曜)はポリテクセンター奈良で毎年行われています『親子ものづくり体験教室』へ参加します。9月11日(金曜)は見学会を行います。秘密にしておきたいのですが、凄いやを見学出来ます。是非参加いただけたらと思います。お日にちが近くなれば、案内を流しますので、ご返信を宜しくお願い致します。

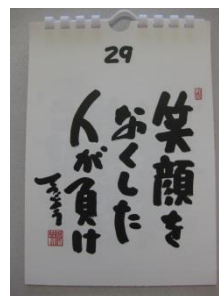
奈良支部コーナー

奈良支部長 中嶋孝

今年は戦後70年の節目の年となります。この世の中に当たり前のことなど一切無いですよ。自分に無いものを欲しがったり、「隣の芝は青い」とばかり羨ましがったりするのではなく、今現在目の前にあるものを大切にしたいものです。「平和」が当たり前の今の日本ですが、近頃の世界情勢を考えるとこれからは一体どうなることやら……。

「お客様」、「会社」、「仕事」、「家族」、「友人」、「同僚」など指折り数えればきりがありますが、ご縁をいただいている様々な人・ものへの感謝の気持ちを改めて大切に想う「2015年の夏」の季節にしたいものです。

今回は、つれづれなるままに書かせていただきました……。



奈良支部会風景

榎原支部コーナー

榎原支部 平野茂

< 安全大会 >

暑熱耐え難しき季節ではありますが、この時期 やはり熱中症には十分な対策が必要です。少し前ではありますが、4月29日に当社の安全大会が実施されました。たくさんの協力業者様の協力の下、今年も盛大に開催することができました。心から感謝申し上げます。私、平野は力不足ながら、安全大会の大会委員長を務めさせて頂き、貴重な経験をさせて頂きました。当社の各営業所が、さまざまな知識と創意工夫をこらし、安全に対するプレゼンテーションを行いました。全社員が、改めて『安全というものに真剣に向き合う』良い機会になったと思います。特に感銘を受けたのが、特別講演でお越し頂いた『ワンハンドプロゴルフファー』の山手 勝 様のお話でした。逆境に負けず、努力し続けた姿は、生きる勇気と希望を感じました。努力し続ける難しさと大事さ、そこにどう立ち向かうかで人生は大きく変わるんだと気が引き締められました。今年も皆様が、安全で健康に、ましては御多忙に過ごせますよう、お祈りしております。



安全大会の様子

< 姫路城 >

ならてつニュースの記事をいつも楽しく拝見させて頂いています。休みの日に、行くところがなく困っているときに、以前にお城の紹介の記事を思い出して一度お城に行ってみようと思いました。3月に大天守保全修理工事が完了した。「姫路城」へ行ってきました。修理工事が終わったこともあり、すごい人でした。整理券も配られており、入るのに何時間もかかりました。大きさもさることながら、驚きの白さでした。どうして白く見えるのかと瓦を見てみると、目地に漆喰が塗られてありました。一つ一つすべての目地に漆喰が塗られてあり、細部にわたった気遣いを感じました。なかなかお城の中を見る機会がなかったのですが、木

造の柱、梁の大きさにも驚きました。いい行楽になりました。「ならてつニュース」ありがとう。みなさん御苦労様です。



高田支部コーナー

高田支部 高橋正巳

” 極上のクルーズⅡ”

”世界の7割は海です” さあ、あなたも世界の船旅へ出掛けませんか！のキャッチフレーズで、今回は親戚と孫3名で ゴールデンウィークにイタリヤ船籍[コスタビクトリア]で 濟州島、佐世保、奄美大島、6泊7日のクルーズに参加しました。7万トンと手ごろな大きさで しかも子供の料金 が無料 で”オールインクルーシブ” 食事、飲み物すべて食べ放題で楽しむことができました。雲一つ無い、初夏の風をうけて 横浜大棧橋を出航。サンセットタイムにベイブリッジの下をトップ の黄色い煙突がすれすれ通過する様子を目の当たりにしてたいへん感動しました。濟州島では民俗村でオムニの冬虫夏草の漢方のおもしろい話に聞き入り。佐世保では、ハウステンボスのチューリップ畑で佐世保バーガーをほうばり 奄美大島ではマングローブ公園 まで足を伸ばし、孫とワイワイ、遊ぶことが出来、良い思い出を作ることができました。カジュアルな船上では陽気なクルーのダンスやマイケルのライブ感あふれるショー、トップ階ではプール、ジャグジー、テニス、また早朝のグラデーションの中での散歩等のんびりと満喫しました。船は海の上のホテル、翌日は寄港地、手ぶらで観光、カクテルを片手にクルーズで出逢った方と気さくに話し、来年も来たいねと！クルーズって最高！！日々仕事に追われる毎日ですが、今年もたくさんのクルーズ船がやってきます。さあ！あなたも、あなたに合った船で、出かけてみませんか？クルーズへ。



賛助会員コーナー

「オーエム工業株式会社」

営業グループ 原田宏

会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のごひいきを賜り、厚く御礼申し上げます。

1. まず当社の歴史を簡単に紹介させていただきます。
 - ①昭和24年 大阪市此花区に創業する。
 - ②昭和35年 大阪市住之江区に住吉工場（現本社所在地）を新設する。
 - ③昭和42年 香川県に四国ガルバ(株)（現・四国オーエム(株)）を設立する。
 - ④昭和48年 熊本県に九州オーエム(株)を設立する。
 - ⑤昭和49年 商号を「大阪鍍金(株)」から「オーエム工業(株)」に改称する。
 - ⑥昭和58年 堺市西区に大型構造物のめっきに対応できる泉北工場を新設する。
2. 次に問合せの多い「OMZ P」について紹介させていただきます。

弊社は創業以来、「鉄をさびから守る」ため溶融亜鉛めっき加工を行っていましたが、昭和62年頃から国立・国定公園内の新設電力鉄塔の光沢を抑え、環境に調和させる技術要望が高まりました。その要望に応じて溶融亜鉛めっき加工後にりん酸亜鉛処理を行ない、自然環境に調和させる処理方法を実用化いたしました。この技術は優しく温もりのある質感が創造性豊かな空間作りを演出することが可能と考え色調を現在5種類に増やし、建築・道路分野に幅広く営業活動を進めております。OMZ Pとは昭和62年にりん酸亜鉛処理を営業開始するにあたり、弊社の愛称OMと溶融亜鉛めっきの亜鉛ZINC、りん酸塩PHOSPHATEの頭文字を用いてOMZ Pと命名し、商法登録を行いました。OMZ Pの表面は、画一的な素材と異なり多様な表情を持っています。溶融亜鉛めっき製品がもつ耐食性に加え、コンクリートや木材とも調和する新しい意匠として、全国的にご採用いただいております。施工写真を2件、紹介させていただきます。



新公会堂・シルクロード交流館渡り廊下



龍谷ミュージアム

今後もオーエム工業株式会社を、よろしくお願い申し上げます。

編集部より

賛助会員コーナーは、会社名50音訓順にて、お願いしております。

よって、次号は**門真鋼材(株)**様お願いいたします。尚、ご希望があれば、順序に関わらず、先行して掲載しますので、ご連絡よろしくお願ひいたします。